

第5回総合計画審議会 資料

(振り返りシート抜粋)

【高齢者福祉】

高齢者支援の推進

- ・急速に発展する「長寿社会」に対応する、**高齢者支援の推進**が最も大切
- ・**高齢者マップ**を作成する。
- ・高齢者の共生と支え合いの創造（**は**つらつと**く**よくよしないで**い**きいきと、そして安心して暮らすことができる高齢者が高齢者を支え、支えられる町づくりの推進と充実）。
- ・**地域ネットワーク**の構築

【障害者福祉】

なし

【子育て】

保育所の早期統合

- ・保育所の統合整備について**統合整備の具体的な年度**を示してほしい。5年以内に行い、**市として具体的な計画**を示していくべき。

保育の支援体制の充実

- ・三世代交流など**広範さ**を採り入れた子育て環境の整備が大事。
- ・保育所の統合について、子供の数だけで判断するのではなく、エリア単位で施設を設置し、保母さんの人数が不足するようならば**時間的に余裕があるお母さん・おばあちゃんが支援する体制**を整備したらどうか。
- ・市内に子育てサロンがありますが、今後サロンを大きく拡大し、「**子育て支援センター**」という**総合支援的な施設**を通して子育て支援を行っていくことが必要。そして「**保育ママ制度**」の**充実**や、**育児相談**、**子育てイベント**などは幅広く行ってい

くことを望む。

- ・共働き家庭への支援

幼児健診の充実

・保育園で気になる子の早期発見という中では「**5歳児健診**」が必要でないか。3歳から6歳までの最も著しく成長する時期における健診がないことが問題ではないか。

家族、地域の絆、たくましさを啓発する教育の推進

・親子、家族、地域の絆を強くするといった**道徳的な面など学校教育を見直す**ことが大切。

企業の連携

・振興国との競争がますます厳しくなる企業にとって、子育て・保育サービスの充実し、障害者の雇用のためにも**企業との連携が重要**。

その他

- ・保育園(所)と小学校、小学校と中学校との**連携**を強く勧められている。
- ・「羽咋市保育所整備運営計画」の実践

【ひとり親家庭】

母子・父子家庭への支援

- ・父子家庭世帯の扶養手当の**拡大**は考慮してよいのではないか。
- ・地域・近所にもおせっかいやきが居る。
- ・奨励金・手当等現金の支給で済ますのではなく、その一部でも羽咋地域のみで**使用可能な商品券の発行等に変更**したらいかがか。

【低所得者福祉】

低所得者を生み出さない地域社会づくり

- ・行政としては**低所得者を生み出さない地域社会をつくる**にはどうしたら良いかを議論すべきだ。
- ・羽咋は、**農業・漁業・林業と働く場はいくらでも在る**と思う、その三つの一次産業から雇用の場を創設し、低所得から脱皮する方法を考えてはどうか。

【地域福祉】

地域福祉の拠点施設の整備

- ・保健福祉センターの整備について、10年先といわず**1年後を目処に早急に県の空き建物利用の方向**で進めてほしい。
- ・今後耐震性から考えると老朽化しているので、**地域福祉の拠点となる施設**は必要だと思う。

コミュニティとの連携

- ・子育ての施策や地域福祉、障害者福祉の取り組みは素晴らしいが、それを実現する仕組みづくりが**コミュニティの視点**が欠けている。**町会**が今の時代の新しいニーズに沿って積極的にコミュニティに係わるべきだ。
- ・支援を必要とする方々達を、**見守りとその支援**を行うことが大事。
- ・福祉全般、受益者責任も含めて町会、青年団、少年団、PTA、婦人会といった**コミュニティを担ってきた組織がどう係るべきか**という視点に立つべき。
- ・行政が、**高齢者、寝たきり障害者への、安否確認や所在チェック**を行う上で、**町会、民生委員と情報の共有化し、協働で行い、地域住民と信頼関係を樹立**することが大事。
- ・基本は**家族が支えるべきであって、それが出来ない場合については、行政が中心**となって地域・団体に支援すべき事項だと考えている。
- ・介護と医療の区分に不安感を本人や家庭間にあり、**地域あげての理解と協働**が大事でないか。

その他

- ・**縦割的方式にならないよう配慮**すべきでないか。
- ・施策の目標値を、ボランティアの登録者数、参加者団体数を指標とせず、**参加者数を指標**としたらいかがか。

【社会保険】

- ・基本は**全員納付と不正請求が無いように**すべきでないか。

【健康づくり】

- ・地域では**健康クラブ、サロンを、自発的自己負担を主として向上発展**させることが大事ではないか。

- ・住民健診の未受検者に対するペナルティを考えたらいかがでしょうか。
- ・早期発見、早期治療に努め、健診率の向上を図る。

【地域医療】

羽咋病院の充実

・羽咋病院の小児科、産婦人科の医療体制(24時間体制)を確立することが重要課題。

周辺自治体との連携

・救急時の医療体制では羽咋市にない診療科もあり、氷見市やかほく市などの総合病院との連携体制を構築しておく必要がある。

・介護予防のための健康づくり支援活動を地域と連携しながら行政からの支援も重要である。地域医療にとって周辺自治体との連携が不可欠である。

高齢者医療の充実

・高齢化により独居老人も増加しているので、在宅医療や防犯、安否確認などの体制を構築するための計画的なインフラ整備に取り組んでほしい。

・療養型病院や保養センターも誘致し高齢医療の充実を進めてほしい。

【環境保全】

環境教育の意識づけ

・幼児期から大人まで一環したテーマを決めて環境教育の意識づけを図るべきである。特に予算を大幅に使っている「ゴミ問題」を皆に分かり易いネーミングにして取り組み市民との協働を図っていくのはどうか。

・環境保全のための下水道事業がなされたにもかかわらず、稼働率の低さが問題である。もっと啓発すべきで税金の無駄使い。

・地域住民総出の清掃活動や啓蒙活動などの推進により、「美しい羽咋市作り」をキャッチフレーズに取り組めないだろうか。

・市民が主体となることが大事な施策であり、市民の意識づけが必要。どのように一人一人の意識を高め、地域力をアップさせていくかが課題ではないか。

・ポスターや標語、その他メディアの活用により多くの人たちに広く理解が深まる方法を考え実施することが重要ではないか。

・年数回、できれば毎月決めた曜日に市民を挙げて「ゴミゼロの日」を決めて、町内・道路・海岸等の清掃活動を実施したらどうか。

- ・エコスクールの開設

ゴミの減量、有料化の推進

- ・可燃ゴミの**有料化**は当り前のことであり、ゴミを減らすために是非実施すべきである。
- ・いろいろな意見があるが、**ゴミ減量のひとしぼりは小さいことでも大切**だと思う。

千里浜海岸保全対策

- ・千里浜海岸の海岸保全について、**護岸工事**のような思い切った対処法はどうか。

コミュニティとの協働

- ・環境保全について、**コミュニティとしての取り組み**が必要不可欠。
- ・特にゴミ等の環境保全については、**行政とコミュニティの協働の仕組みづくりがポイント**で、このための**専門プロジェクト**を立ち上げて取り組んではどうだろうか。

【省資源・リサイクル】

家庭への支援

- ・**分別優良箇所の推奨**もあってもよいのではないかと。
ごみ回収の有料化は必要と考えるが、**幼児や要介護者のいる家庭への支援策とセット**でなくてはならない。
- ・ゴミシールの有料化に伴い、家庭の生ゴミ減量化に対し、**対策に協力してくれた家庭には生ゴミ量相応のシールを還元する**等の対策をお願いしたい。

リサイクルの推進

- ・**資源ゴミの種類拡大**については、現状を検討分析して行ってほしい。
- ・リサイクルに関しては、**もう少し無駄が省ける**のではないかと。
- ・**プラスチックの出し方**があんな状態でいいのか。以前から疑問に思っていた。

周辺自治体との連携

- ・分別回収の推進とリサイクル資源の有効活用、リサイクル業者の開拓や処理施設に関する**周辺自治体との連携**への取り組みも重要である。

【防災】

防災意識の啓発

- ・自分たちの町と生活は住民自らで守るという意識付けのための**啓蒙活動や補助金など支援活動**を進めてほしい。

- ・防災については防災会議での取り決め事項及び防災マップ、連絡網（問い合わせ先等）の入った「羽咋市防災メモ」のパンフを作成し、各個に配布したらどうか。
- ・個人情報保護への過度な配慮が支援する関係者の活動を困難にしているとするれば是正する啓発活動の施策が必要となってくる。

管理危機体制の充実

- ・平成20年より設置した当市における「要援護者台帳」等へのリスト搭載すべき申請推進や、これにマッチする緊急時連絡網の整備等充実を図ってほしいと思います。
- ・現実に発生した際、身近にしかも一般市民も使用可能な器具器材の配備を計画的に実現してもらいたい。
- ・避難場所の案内板の設置がないが必要。
- ・「自主防災組織」の推進

周辺自治体との連携

- ・防災活動においては、地震などの災害への対応は広範囲となるため、志賀町の消防センター等周辺自治体との連携が不可欠である。

その他

- ・原子力発電所への危機管理も地域全体にとって重要なポイントと考える。連絡協議会の設置など危機管理体制の構築が必要であろう。
- ・最近の異常気象等を考慮し、危険が想定される地域と行政が連携してほしい。

【消防・救急】

消防・救急の啓発

- ・高齢者の救急体制を分かりやすくする(地区の高齢者マップの活用)
- ・住宅火災警報器の普及啓発に力を入れてほしい。
- ・各町会には、何年かおきに、消防訓練の実施を義務付けたらどうか。

その他

- ・火災が発生した時、通報があれば迅速に現場に出動して欲しい。

【交通安全】

コミュニティとの協働

- ・羽咋市は高齢者ドライバーが大変多いので、高齢者に対する交通マナー・運転指導を進めるとともに毎年適正能力チェックを義務付けて、運転免許の自主

返納も進めるべきではないか。その際には、巡回バスなど公的交通機関やコミュニティーを活用した交通手段の確保・充実が不可欠である。

・年1回位は各町会で、町内に設置してあるカーブミラーが適正な方向を向いているか、汚れて見にくければ拭いてもらう等の依頼をすればどうか。

【防犯】

防犯意識の啓発

・「詐欺事件」などが多いので、「すぐ警察へ」「市役所相談室へ」を徹底を行って根絶とともに努力する必要がある。

・子供に対する道徳教育の項目があってもよいのではないかな。

【消費生活】

意識の啓発

・消費者相談を市の広報誌、市のホームページに掲載し、注意喚起と相談窓口のPRをしたらどうか。

【その他】

その他の全般

・福祉の予算について、過大な助成サービスや高額な補助金配分をしていないか、仕分けを行い無駄はないかどうか、各担当係毎に確認をする必要がある。予算配分の重点を絞るべきである。

・各種団体の意見収集について、市内の老人会、町会、婦人会、PTA会、保護者会などに市政に対してのアンケートを実施し、その各団体からの問題点、意見、課題など集約してその要望をみきわめていく。

・10年後の総合計画のビジョンは、それぞれが良くてクリアするものではないと思う。すべて連鎖しているものである。

・行政がかかえすぎている部分が、多いにあるので、市民にゆだねていってはどうか。

か。市民にも痛みをわかってもらえればどうか。

・ **将来人口推計の減少傾向要因とその歯止め策**について議論したい。

・ 一般の方は皆忙しく、普段はボランティア活動とは縁がない。自分の権利を多く主張する者が増える中でどのようにして**ボランティアの意識を改革し高揚させるかが、重要な課題**ではないか。

・ **青年団協議会**では、少子化対策として**青年の出会いの機会を持つ事業**を実施しているが、手厚い支援をしてほしい。

羽咋の経済活性化

・ 全国的に製造業の日本国内での成長は鈍化し製造業の海外進出が進んでいく。羽咋市にとって**今後基盤とすべき産業は農林水産の一次産業と観光サービス産業**と考える。

・ 企業誘致を待ち、税収入を雇用促進を考えるのではなく、**市と市民の協働で、起業していくこと**はどうだろう。市の土地を利活用し、地産地消をベースに羽咋ブランドを発信していく。市の企業に一口1万円を出資するなど。

運営について

・ 第4回の会議について十分審議されないままに進んでいくので一考を要する

・ 10年くりくりではなく5年のくりくりにして、中間的考察をしてみては？

・ 各項目関連事項の質問等が出た時、課長ばかりの説明ではなく、病院の話が出た時などは、羽咋病院長なり事務長が説明した方がより具体的ではないか。

質問

①夫婦65歳以上高齢者世帯は？

②独居世帯は？

③子供の数別世帯は？

④合計特殊出生率の低下要因とその対策？

⑤資源ゴミのリサイクル状況はどうなっているのか知りたい。

参考事例

・行政としての取り組み方について等兵庫県小野市の例が参考、学ぶべき点が多々あり、参考にしてはどうか？行政経営という視点をもって成果を挙げている。